

ニッコウガイ科の貝は鳥の名前が付いたものが多い。サギガイ、アオサギ、ゴイサギ等。なお、語尾がシラトリとなる貝は、ケショウシラトリ、サビシラトリ、タカホコシラトリなどがある。



水管を伸ばしたところ

ホトトギスガイ *Musculista senhousia* (Benson) (丹浦) 時鳥



イガイ科 殻長 2cm。殻皮は黄緑から黒紫色で光沢がある。分布は北海道南部以南。和名はホトトギス（野鳥）と同じような縞模様をもつことに由来する。

ホトトギスガイはアサリの害敵

ホトトギスガイの生息量が増えると、足糸でお互いが絡み合い、海底をマット状に覆う。羽田州で昭和 27 年、31 年に、三枚州では昭和 32 年に異常繁殖があった。こうなると、マットの下になるアサリは窒息し、大量斃死となる。このため、漁業者はマット状集団を壊すための作業（耕耘）を行った。